

令和元年度 島根県学力調査結果及び分析・対策(松江市立秋鹿小学校)

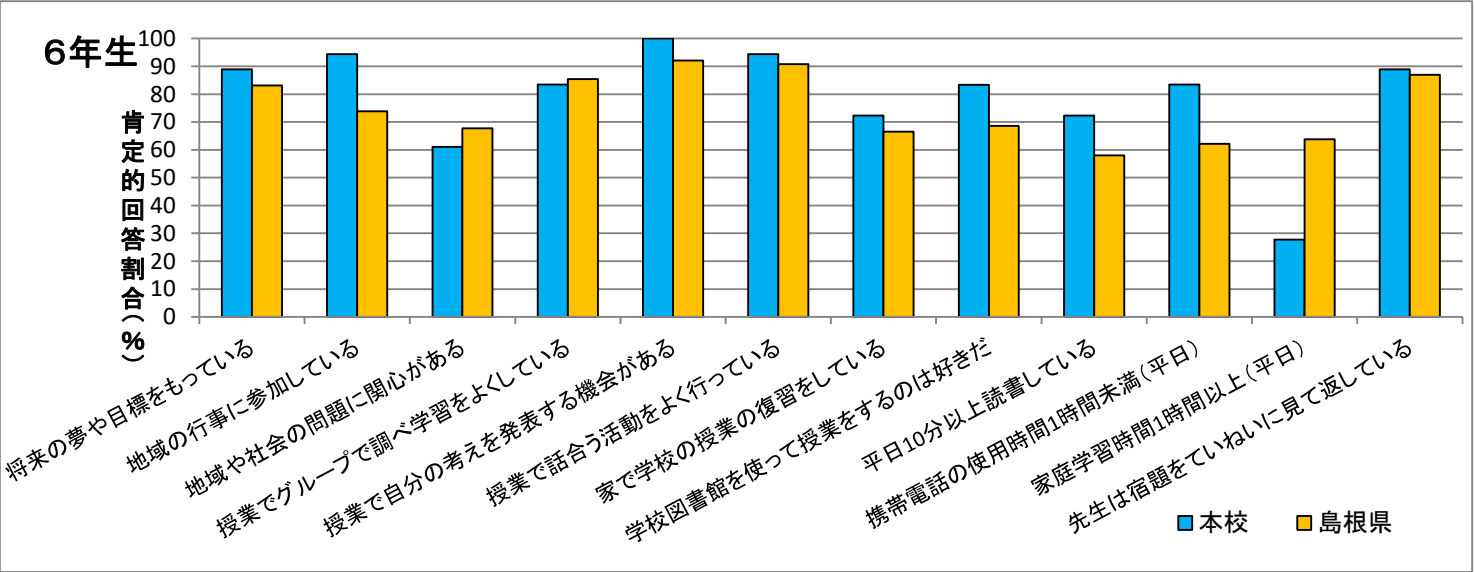
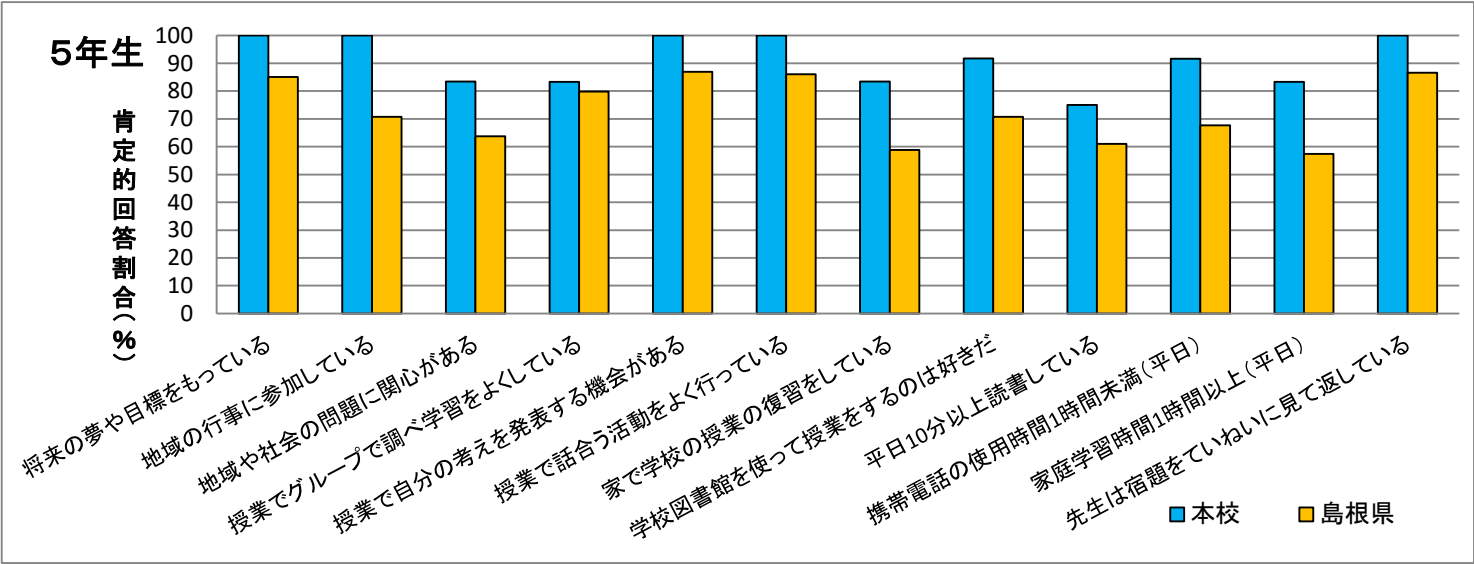
(1) 学力調査結果から見られた傾向

|    |    | 成果と課題(○:成果、●:課題)                                                                                                                                                    | 対策                                                                                                      |
|----|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5年 | 国語 | ○書きたいことに合わせて表現を工夫して書くことができていた。<br>●漢字を正しく読んだり書いたりすることに弱さが見られる。<br>●複数の資料を比べて読み、自分の考えをまとめることに弱みが見られる。                                                                | ・日記や自学等に自分の考えをまとめて書くことを取り入れる。<br>・普段から国語辞典等を利用して言葉の意味を確認し、漢字を適切に読んだり書いたりすることができるようにする。                  |
|    | 算数 | ○問題に合わせた適切な立式やそれに伴う基本的な計算について強みが見られる。<br>●設問の数値に小数や帯分数があると、正答率が下がる。<br>●定義を活用して考えたり、規則性を見つけ説明したりすることが難しい。(特に、図形が絡む問題)                                               | ・問題を分析し、見通しをもって考える力をつけられるように、設問の導入段階で自分の考えをノート等に表出することを行う。<br>・思考したことを話し合う時間を設定し、考えを他人に分かりやすく説明する力をつける。 |
| 6年 | 国語 | ○相手の発言の意図を捉えて読み手に分かりやすく表現を工夫して書くことの正答率は高かった。<br>○漢字を正しく読んだり書いたりすることはよくできていた。<br>●全国調査と同様に、段落相互の関係を考えたり、複数の資料や文章を比べたりしながら読むことに弱みが見られた。<br>●条件を全て押さえて文章を書くことに弱みが見られた。 | ・図鑑や辞典など、様々な種類の資料を読む活動を取り入れていく。<br>・資料から読み取ったことと、自分の意見との照応関係を確認しながら書く活動をこれからも大切にしていける。                  |
|    | 算数 | ○数と計算の領域は、おおむねよくできている。<br>●図形領域の記述式問題に弱みが見られる。<br>●問題を読み取ったり、説明を記述したりするのに時間がかかり、最後の問題までたどり着けない児童が多く見られた。                                                            | ・ペアやグループで自分の考えを説明するだけでなく、ノート等にきちんと記述することを増やしていく。<br>・図形をかいたり、切ったり、並べたりする活動は、これまでと同様に大切にしていける。           |

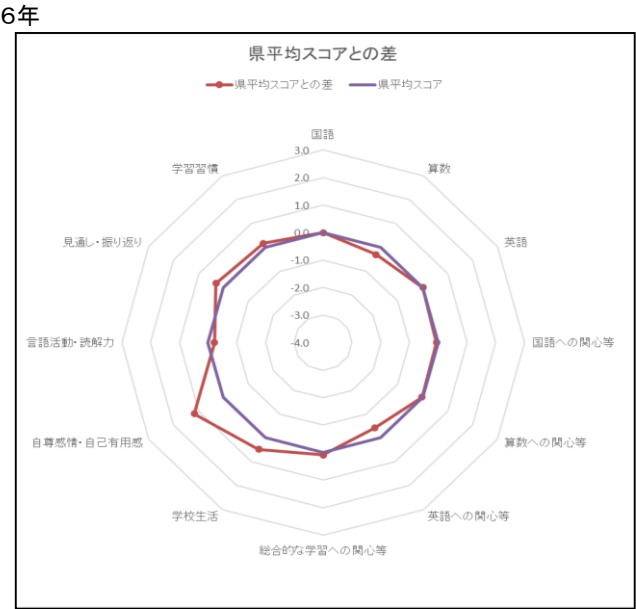
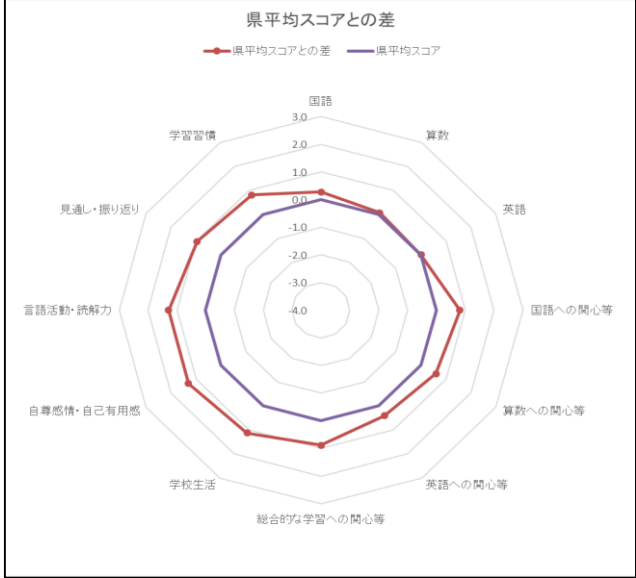
(3) 生活・学習に関する意識調査から見られた傾向

|    |            | 成果と課題(○:成果、●:課題)                                                                               | 対策                                                                                                           |
|----|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5年 | 授業改善に関わる事項 | ○概ね肯定的な回答が見られる。<br>●グループでの調べ学習をする機会が他の項目に比べるとやや低い。                                             | ・話し合いの機会は確保されているものの、相手に分かりやすく説明することが意識できるように、思考ツールなどを使って伝え合う機会を増やす。                                          |
|    | 家庭学習に関わる事項 | ○夢をもって生活したり、地域の行事に参加したりしている児童が多く、豊かな体験を自分自身に取り込んでいる。<br>●平日の読書量が他の項目に比べて低く、読書に親しむ態度を育成する必要がある。 | ・友達の自学のよい例などを紹介し、自分の課題を把握して自学をするなど、主体的に宿題に取り組む態度を育成する。<br>・新聞を読む機会はもとより、新聞をもとに考えるような宿題を出す。                   |
| 6年 | 授業改善に関わる事項 | ○授業で話し合う活動をよく行っている。<br>○人数が少ないこともあり、授業で自分の考えを発表する機会が多い。<br>●地域や社会の問題に関心がある割合が6割しかない。           | ・ペアやグループで自分の考えを伝えあったり、発表したりする機会をこれからも確保していく。<br>・社会問題に関する児童の発言を全員の学習に広げていく。                                  |
|    | 家庭学習に関わる事項 | ○家で、学校の授業の復習をしている児童の割合が県平均より高い。<br>○携帯電話の使用時間1時間未満が多い。<br>●家庭学習時間が短い。                          | ・スポ少で活躍している児童が多く、家庭学習の時間を確保しにくい面もあるが、家庭学習の取り組み方のよい例を提示し、やる気を喚起する。<br>・達成感が感じられたり、次の授業に活かさせたりするような宿題を取り入れていく。 |

(4) 生活・学習に関する意識調査の結果



(2) 各学年・各教科の調査結果チャート



(参考) 平均正答率

|     |     | 国語 | 算数 |
|-----|-----|----|----|
| 5年生 | 本校  | 64 | 60 |
|     | 松江市 | 61 | 60 |
|     | 島根県 | 60 | 58 |

受検者数  
5年生 12 人

各スコアの範囲は-4から+3までで、島根県のスコアは基準値の0となっています。  
スコアが0より大きければ大きいほど、島根県よりも「当該教科で平均正答率が高かった」、あるいは「当該カテゴリで肯定的回答が多かった」という結果になります。

(参考) 平均正答率

|     |     | 国語 | 算数 |
|-----|-----|----|----|
| 6年生 | 本校  | 51 | 52 |
|     | 松江市 | 52 | 60 |
|     | 島根県 | 51 | 59 |

受検者数  
6年生 18 人